
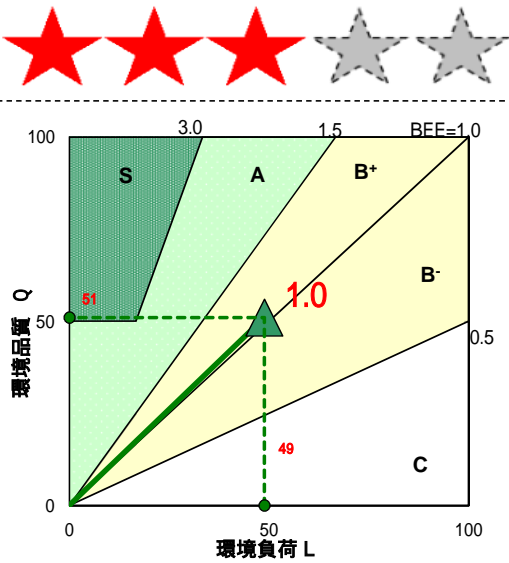


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

建物概要				外観
建物名称	(株)クリーン発酵九州熊本工場	階数	地上1F	
建設地	熊本県荒尾市	構造	S造	
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	22人	
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2014年11月17日	
敷地面積	47,779 m ²	作成者		
建築面積	20,057 m ²	確認日	2014年11月25日	
延床面積	19,282 m ²	確認者		

1 CASBEE評価結果

建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 1.0

■BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$


■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

100%

2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価	評価点													
	77													
	評価点	熊本県重点評価基準												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	81.2	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	66.6													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0													
【重点事項4】 循環型社会の実現	82.5													

評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。
 使用評価マニュアル：CASBEE-熊本《新築》2010年改訂版Ver.2 (SPVBE対応) 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)クリーン発酵九州熊本工場	階数	地上1F
建設地	熊本県荒尾市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	22人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2014年11月17日
敷地面積	47,779 m ²	作成者	
建築面積	20,057 m ²	確認日	2014年11月25日
延床面積	19,282 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 Q: 51, 環境負荷 L: 49

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 評価点 = 77

重点事項1: 温室効果ガス排出削減の推進 評価点 = 81

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 67

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 75

重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 83

重点事項の評価 (レーダーチャート)

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 『ライフサイクルCO₂』とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補
(株)クリーン発酵九州熊本工場

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応)

評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei\

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点への転記		評価点	重み係数			
		評価点	転記					
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル								
2 設備騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 負荷変動・追従制御性								
3 外皮性能								
4 ゾーン別制御性								
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御								
3 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4 給気計画								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能					0.43			3.6
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性					3.4	0.52		3.4
2.1 耐震・免震					3.0	0.59		
1 耐震性					3.0	0.80		
2 免震・制振性能					3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数					4.0	0.41		
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.50		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			外壁の最短耐用年数:30年以上		5.0	0.50		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
6 主要設備機器の更新必要間隔								

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性						
1	空調・換気設備					
2	給排水・衛生設備					
3	電気設備					
4	機械・配管支持方法					
5	通信・情報設備					
3 対応性・更新性			4.0	0.48		4.0
3.1 空間のゆとり			5.0	0.50		
1	階高のゆとり	軒高:7.0m > 3.9m	5.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.04 < 0.1	5.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.50		
3.3 設備の更新性						
1	空調配管の更新性					
2	給排水管の更新性					
3	電気配線の更新性					
4	通信配線の更新性					
5	設備機器の更新性					
6	バックアップスペースの確保					
Q3 室外環境(敷地内)				0.57		2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性						3.0
LR1 エネルギー				0.40		3.2
1 建物の熱負荷抑制						
2 自然エネルギー利用			3.5	0.50		3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライト、ハイサイドライトの採用	4.0	0.50		
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化						
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		#VALUE!				
集合住宅の評価			3.0			
4 効率的運用			3.0	0.50		3.0
4.1	モニタリング					
4.2	運用管理体制		3.0	1.00		
LR2 資源・マテリアル				0.30		2.7
1 水資源保護			3.0	0.15		3.0
1.1 節水						
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63		2.5
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21		
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.21		
2.5	持続可能な森林から産出された木材					
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	1.00		
3.2 フロン・ハロンの回避						
1	消火剤					
2	発泡剤(断熱材等)					
3	冷媒					
LR3 敷地外環境				0.30		3.0
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33		3.0
2 地域環境への配慮			3.2	0.33		3.2
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25		
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25		
1	雨水排水負荷低減					
2	汚水処理負荷抑制					
3	交通負荷抑制		3.0	0.50		
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.50		
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1	騒音		3.0	1.00		
2	振動					
3	悪臭					
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		
1	風害の抑制		3.0	0.70		
2	砂塵の抑制					
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		

CASBEE[®] 熊本 《新築》 【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

建物の長寿命化と地球温暖化防止に配慮している。

Q1 室内環境

評価対象外

Q2 サービス性能

耐久性、補修性に優れた材料を使用するよう努めている。

Q3 室外環境（敷地内）

既存の緑地を保全している。建物周囲に緑地帯を設けている。

LR1 エネルギー

トップライトやハイサイドライトによる自然エネルギーの直接利用に配慮している。

LR2 資源・マテリアル

消火設備は、屋外消火栓設備でハロゲン化物消火剤を使用していない。

LR3 敷地外環境

燃焼機器を使用せず、大気汚染防止に努めている。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (株)クリーン発酵九州熊本工場

評価ソフト: CASBEE-NCb_2010_kmt2011(v3.0)

使用評価マニュアル: CASBEE熊本(新築)2011年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		77.3
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
温室効果ガス排出量削減の推進				81.2	0.40	32.48
Q1-2.1.3	外皮性能	0.0	0.00			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	0.0	0.00			
Q1-3.2.2	昼光制御	0.0	0.00			
LR1 1	建物の熱負荷抑制	0.0	0.00			
LR1 2	自然エネルギー利用	3.5	0.50			
LR1 3	設備システムの高効率化	0.0	0.00			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.25			
LR3 2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.25			
安全安心で暮らしやすい社会の実現				66.6	0.20	13.32
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	0.0	0.00			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.20			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.27			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.20			
県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.50			
LR2-1.1	節水	0.0	0.00			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.50			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
循環型社会の実現				82.5	0.20	16.50
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	4.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	4.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

総合評価結果

$$\text{総合評価点} = (\text{各重点事項の評価点} \times \text{各重点事項の重み係数}) \text{の総和}$$

重み係数の総和は、「1」であること。

各重点事項(~ の項目)

$$\text{評価点} = (\text{各重点項目のスコア} \times \text{各重点項目の重み係数}) \text{の総和} \times (5/4) \times 20$$

重み係数の総和は、「1」であること。

(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数